

令和元年 6 月月例記者会見

【 説 明 】

〔いこま空き家流通促進プラットフォーム 1 年間の成果〕

市長 いこま空き家流通促進プラットフォームの 1 年間の成果について報告いたします。ちょうど 1 年前に全国初ということでスタートしました。特長としましては、一つ目として、当時生駒市では 2.8%の空き家率でして、職員が丁寧に現地確認などをしながら、空き家の情報をしっかりと精査し、プラットフォームに提供しました。二つ目として、一つひとつの物件についてカルテを作成し、専門家の協力を得ながらオーダーメイドの対応を行いました。三つ目として、このプラットフォームが中心になり、いろんな専門家の方のご協力で、空き家対策を進めました。この 1 年間の成果をスライドも使いご説明します。設立から約 1 年間で、空き家期間平均 13 年間の空き家を所有者のご意向、ご理解を得ながら情報提供し、専門家のご協力を頂き、36 件取り扱い、そのうち 9 件が売却または賃貸契約に至り、成果が出始めました。今後、空き家が増えていく可能性もありますので、引き続きこのプラットフォームを活用して、生駒市の財産である、これらの空き家の不動産についてよい循環ができるよう頑張っていきたいと思っております。具体的な取り組みについては担当課から説明してもらいます。

（担当課長から 6 つの取り組み事例をスライドにて紹介）

市長 1 件ごと職員の非常に丁寧に取り組んでくれています。今後もしっかり実績をあげていきたいと思っておりますので、よろしくをお願いします。

〔コンビニでの証明書交付率 2 年連続全国 1 位〕

市長 コンビニエンスストアでの各種証明書の交付率が 2 年連続全国 1 位になったという報告です。生駒市では、平成 30 年度のコンビニでの証明書交付率が約 27.7%となっております。コンビニ交付をしている団体が 620 ありますが、その平均が約 3.9%ということですので、生駒市ではいかにコンビニでの交付が普及しているか、市民の利便性の向上に繋がっているかということがお分かり頂けると思います。交付率につきましては、全国で 2 年連続第 1 位ということでございます。マイナンバーカードの交付率ですが、平成 31 年 3 月末時点で、全国平均約 13.0%を大きく上回り、交付率が約 21.7%となっており、全国約 800 市の中で第 6 位となっております。市民課を中心に出張しての交付申請受付や、自治会へ PR を行い、コンビニ交付の取り組みと連動しての成果だと思っております。今後ともコンビニ交付やマイナンバーカードを利用した住民サービスに積極的に取り組んでいきたいと思っております。

〔生駒山麓太鼓保存会と幼稚園がコラボ〕

市長 皆さんよくご承知の生駒山麓太鼓についてですが、生駒商工会議所の青年部が中心となり平成 3 年 6 月に結成をされておりますので、約 30 年近くになります。現在参加メンバーも増えておりまして、お子さんに対しても熱心に指導をしておられ、市民みんなで作る音楽祭にも参加をしてもらっています。この生駒山麓太鼓の保存会の皆さんに、市内の 7 つの公立幼稚園で太鼓の体験会をして頂きます。今年で 5 回目ですが、私も今年度の最初の生駒台幼稚園での 7 月 11 日に参加する予定ですので、ぜひ取材をして頂きますようお願いいたします。

【 質疑応答 】

〔いこま空き家流通促進プラットフォーム〕

記者 空き家のプラットフォームですが、市長自身は、9件の成果についてどのように受けとめて、この全国初の試みを、どのように展開していきたいとお考えですか。

市長 この1年で9件の成果が出たということですが、1年目は専門家の皆さんや所有者の皆さんとの信頼関係を深めるということで、担当課はとても頑張ってくれ、ネットワークも構築出来たと思います。9件の成約と36件との繋がりは大きな成果だと思います。2年目以降は更に大きな成果が出て、生駒市から全国のモデルになるような取り組みになればと思っています。

記者 1年取り組んできての課題などはありますか。

市長 空き家の所有者の方に納得して頂くのは大変だったと思います。このまま空き家を所有していても困りはしないという方や、昔のバブル期に高額で取得し価格がかなり下がっていて、売却に難色を示される方もおられる中で、プラットフォームを活用してもらうためのご理解や活用頂いた場合の売却や賃貸のプランに同意頂くのに、職員も努力をしておりますので、このプラットフォームもますます成果がでていくと思っています。

記者 以前に空き家を民泊に活用したいと言われていましたが、今後の空き家の活用として進めていく上での課題はありますか。

市長 民泊は、生駒市の特徴を生かした一つの手段ですが、実際に市内の方が空き家を買って頂いて、空き家を民泊事業として頂くこともできると思います。高齢者の地域での活躍にも繋がってくると思います。いろんな活用方法は考えられると思いますが、民泊は一つの効果的な取組になると思います。

記者 2年目はどう進められますか。

市担当者 所有者の方がいろんな意向をお持ちなので、業者等と連携してよりスムーズに対応できるような体制を構築していきたいと思っています。

記者 生駒市の物件として、借り手や購入者側のニーズはどういうものがあつたのか教えて下さい。

市長 田舎暮らしを望まれるなら奈良県南部になるでしょうし、都会暮らしを望まれるなら、生駒でも大阪中心部には20分で行けるとしても、大阪の都心部の方がもっと便利だと思います。空き家に限らず生駒市で不動産の取得を希望する方は、利便性と自然の豊かさのバランスを考えてということが大きいと思います。(成約した)9件の物件についての詳細な分析はまだできておりませんが、生駒市は子育てを含め、地域でのコミュニティが非常に活発なので、市内の方には既に周知されておりますが、市外の方にも浸透してきたのではないかと思います。

市担当者 (今回のケースは)新しい所有者は市内の方が多い状況です。

記者 残りの27件は対応中ということですか。

市担当者 はいそうです。

記者 不良ストックの洗い出しというか、売却で解体したのは、9件の内何件ですか。

市担当者 解体予定2件を含めて全部で3件です。

記者 災害時の対策など、不良ストックの洗い出しも出来ているということですか。

市長 空き家の対策をしている中で、近隣への悪影響がある場合が発見されて対応することもあります。空き家の状態もそのまま賃貸できる良好なものから、リノベーションをしても難しいもの

まであります。困難な場合は、洗い出しもしていくということがこのプラットフォームの一つの目的でもありますから、売買、賃貸が優先ですが、緊急対応していくものや、地域で使っていくということもあると思います。

記者 プラットホームの登録事業者の51社は市内ですか。

市担当者 基本的には市内の業者です。

記者 市内の業者はほぼ網羅されていますか。

市担当者 全てではありません。賛同された業者のみです。

〔コンビニ交付全国1位〕

記者 コンビニ交付の件ですが、2年連続全国1位となった要因は何だと思われますか。

市長 コンビニでの交付については、全国でも1番目か2番目という非常に早くから取り組んできておりますので、市民の方にも浸透してきたということが大きいと思います。当時の住民基本台帳カードやマイナンバーカードの割合も高いので、また、国勢調査の回答もITで行う方が多かつたりと、ITを積極的に使うという市民が多いということで、それが生駒市のコンビニ交付とうまく連動したのではないかと思います。

記者 交付率について、全国平均が3.9%という中で、29年度の26.8%で、30年度は更に27.7%と約1%増えていることについて、大きく増えていると思いますが、この1年間に何か促進策をされましたか。

市長 証明書の種類も当初限定されていましたが、例えば住民票は生駒市だが市外でお住いの方などが活用できるように、対象の証明書もどんどん増やすなど、サービスの幅を広げてきております。

市担当者 去年の取り組みとしましては、マイナンバーカードを普及させるため、市内の生涯学習施設などで休日出張申請窓口をさせて頂きました。その際に、コンビニ交付は窓口での交付より証明書の手数料が安く取得できるということも周知するようにしました。

〔その他〕

（監査委員の欠員補充）

記者 監査委員の追加提案はないですか。監査専門委員の導入など条例の改正はありますか。

市長 6月議会ではありません。

記者 市政顧問が退任されたと聞いておりますが、市か本人かどちらが言い出したのかという経緯を教えてください。

市長 1期目が終わったので、ここで一度区切りということ由市側から言いました。2期目については、今後の課題検討の為に市政顧問などのアドバイザーをお願いする可能性もありますし、前任者も含めて考えているところです。

（教育委員の報酬の監査請求）

記者 教育委員の報酬の監査請求の件ですが、市長はどう受けとめられているのかと、2万9千円を見直す考えはありますか。

市長 元々、行政改革検討委員会での指摘を踏まえて、委員の報酬を月額で払っていたものを、

より実勢を考えた形の日額へ改正をした経緯があります。日給ですので、長い時間、例えば8時間近く議論して頂く日もあれば、イベントへの参加では1時間ほどで終わるものもあります。イベントに出てきたものだけをみれば、1時間程で2万9千円と高額に思われるかもしれませんが、行革委員会の指摘では、そういうことも含めて日給で払った方が、全体としてみれば費用の削減になるということで、日給制にしたものです。一部だけ切り取ってその部分だけ高いと判断するのはどうかと思います。更に今までは、教育委員の方に多くのイベントへの参加をお願いしておりましたが、非常にお忙しい方が多いので、短時間のイベント参加などへの依頼は、成人式や市民体育大会など重要なものを除いて、精査をして減らしてきており、例えば総合教育会議などの議論をして頂くものへの参加を多くお願いするようにしております。

日給2万9千円の水準がどうかということについてですが、生駒市の教育委員の方はそれぞれの専門性を活用して多くの議論を重ねて頂ける方ばかりで、ご自身でもいろいろ事前に研究や調査をして、提案等を頂いておりますので、今の時点で高すぎるとは思っておりませんが、他の自治体と比べ生駒市の教育委員の方がどれだけ汗をかいて頂いているかなども見てもなお、額の水準を見直した方がよいということなら、改正することも考えられると思います。参加して頂いているイベントにつきましても、更に精査をしていけるものがあるかを検討したいと思いますが、月額から日額へ変更して、トータルで見ると合理化はされていると考えております。

記者 現状は妥当であるということですね。

市長 元々、月給制については、働いて頂いている実勢と報酬が合わないということがありました。日給制に改正するにあたっては、1時間だけ働く日もあるということを含めて、これで行こうと提言を頂き、決めておりますので、今の制度が不適切であると批判されるものではないと考えております。

記者 (委員の)人数についてはどうですか。

市長 生駒市では、学校教育だけではなく、生涯教育や地域ぐるみの取り組み、例えばUDフォントの導入、生涯学習を取り組んだまちづくりなど先進的に取り組んでいますので、8人必要で、現在1名欠員ですが、4人の教育委員では対応しきれないと思っております。

記者 6月議会での1名補充の追加提案はありますか。

市長 早くとは考えていますが、この6月にはありません。

【 説明 】

〔県内初！広報紙を10言語でデジタル配信 -防災マップやごみガイドブックも配信予定-〕

市長 7月1日から今まで月2回発行しておりました広報いこまちを1回にすることになりました。他のメディアの活用など工夫をしながら、情報発信力を低下させないよう検討をした結果、その取組の一つとして、現在全国的にも注目を集めているUDフォントで連携をしている、(株)モリサワさんのお力をお借りし、この取り組みをするということです。多言語対応や文字の拡大などの技術を活用し、外国語対応はもちろんですが、生駒市の防災マップ、ごみ収集カレンダーなども配信し、市民に向けての生駒市の情報発信力を高めていくということでございます。

(株)モリサワの担当者よりシステムの詳細説明)

【 質疑応答 】

記者 言語はどこで切り替えますか。

事業者 基本的にはQRコードからということになり、言語切り替えで変わりますが、スマホの言語の端末設定がありますので、それで自動設定になります。

記者 これを導入した狙いはなんですか。

市長 一つは、7月1日から広報が2回から1回になるので、広報広聴課で情報発信力を落とさないよう他の方法を検討したことと、UDフォントを更に活用した取り組みを検討したということです。生駒市では、外国人は人口12万人のうち千人程度と多くはありませんが、奈良先端科学技術大学院大学などもあり、様々な国から来て、言語も多言語にわたるという特徴があります。こういうサービスをすることで国際化にも対応ができますし、単に翻訳化、電子化するというだけではなく、他のSNSとの連動もよく考えられておりますので、若者、高齢者、外国人とそれぞれに使いやすい機能が多く、ありがたいと思っております。

記者 外国の人材の受け入れが始まるということに関係しますか。

市長 そういうことではありません。外国人が増えるとより活用されるということはありませんが、その制度が変わったからということではありません。

記者 広報紙が月2回から1回に変わるのは、このシステムを導入したからですか。

市長 それは逆で、いろんなご意見があり、広報紙が月2回から1回にすることになり、紙以外での情報発信の強化を検討したということです。

記者 2回を1回にするということは、経費の問題ですか。

市長 それだけではなく、他自治体では月1回のところが多いことと、生駒市では広報紙には力を入れていて全国表彰されたりしており、市民の方もよく読んでくれていますので、月2回としてきましたが、高齢化もあり配布いただいている自治会の負担が大きくなること、また、生駒市では全国でも上位に入るほど比較的高齢者でもITリテラシーの高い方が多いことなど、それらを総合的に考えてのことです。

(了)